



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2011. 第 58 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

今年の夏もいよいよ終わり・・・正直、ホッとしている上神谷でございます。

やっぱり、どうも暑いのは二ガテですね・・・。

しかし、私の感覚的な話になってしまいますが、今年の夏は昨年と比べ、まだ、しのぎやすかったのではないかと・・・と思います。

今年起きた“未曾有の災害”のため“節電”が叫ばれる中
「使わない部屋の電気はつけない」
「コンセントからこまめに抜く(消す)」
「エアコンは必要な部屋だけ」
など微力ながら我が家でも注意して過ごしてきましたが、そのせいか、昨年よりも使

用していた電気量が減っていました。

これが成し得たのは、連続して暑かった日も確かにありましたが、連続して涼しく過ごしやすかった日もあったからだと思います。

今年は“早めに訪れた梅雨明け”から9月半ばまで、そんな感じだったと思いますが、昨年その時期は、今年のような繰り返し無く、その時期の間、ずーっと暑かったような気がしています。

そしてそれがきっかけかどうかはわかりませんが・・・

潰瘍性大腸炎になってしまいましたし・・・。

そのため、昨年末はとうとう入院・・・。ですが、今は、おかげさまで元気です！

もう、季節は秋に向かっていますが、皆様も季節の変わり目です、どうぞ、体調にはお気をつけてくださいね。

■ 久々に“試合”！！

先日、あるお客様に

「このニュースレターも9年目を迎えると、さすがに“ネタ”が・・・」

と、こぼしてしまいました・・・。

ありました、ネタ。。。。。



先日、私がお世話になっているどんぐり会という卓球の会が主催する試合に参加することができました。

男女混合ダブルスでしたが、久々に試合というものをしました。

1ブロック8組のペアが、そのブロックの中で総当たり戦の試合をします。つまり、1組が7試合できるというわけです。

このブロックが7ブロック位あったわけですから、参加人数の多さがうかがえますよね。。 トーナメント戦なら一度負けたら終わりですが、総当たり戦ですのでたっぷりと楽しむことができました。

結果は、私たちのペアは3勝4敗と負けこじてしまいましたが、ますますだったのではないかと。。。。。

1試合5ゲーム(セット)で、3ゲーム先取で勝ちとなるのですが、最後の試合も実は危なくて。。。。。

私たちのペアは2ゲーム先取されて、もう後がない状態。「これはマズイかも。。」と焦る心を何とか押さえて3ゲーム目に挑みます。

すると、どうしたことか急に実力を発揮!(。。って。。?)3、4ゲームを連取!

勝負は最後の5ゲーム目にもつれ込みます。

もう両ペアとも、他のペアとの試合を6試合も済ませています。ですからかなりバテバテです。その上で最後の試合が最終ゲームまで、もつれこんでいるわけですから。

そして。。。。消耗戦を制したのは。。私たちのペアでした!

最後にきて、忙しい中、「試合を見たい!」と応援に来てくれた娘と妻に、何とか面目が保たれたのでした。



(写真は娘が撮ってくれました。。。。)



お世話になっております。

長坂利昭です。

今号もお読み頂きありがとうございます。

9月も半ばを過ぎ、徐々にではありますが、秋の気配もしてきました。現場、営業としても、とても仕事のしやすい季節を向かえます。



■北海道へ。。。。

8月後半、夏休みをいただきまして、礼

幌、そして妻の実家がある室蘭へ行って来ました。

結婚してからは、毎年夏と冬、最低2回は行っています。娘は2歳半ながら、飛行機の搭乗回数が、すでに10回以上……。自分なんか高校の修学旅行まで、飛行機になんか乗ったことなかったのに……。

私の父方はずっと稲城、母方はずっと府中なので、田舎らしい田舎というものがなかったもので、室蘭に行くのは、毎回楽しみなんですよね。

今回も楽しい帰省になる予定だったのですが……



■妻、入院……！？

出発の数日前から、妻が「熱がある」「体がだるい」「気持ちが悪い」と言い始めました。そのまま出発当日になり、何とか飛行機にも乗れ、北海道へたどり着いたのですが、熱が上がったり、下がったり。食欲もあまりなく、札幌のホテルでは常にベッドで横になり……。

最初は、たちの悪い風邪だねと話していましたが、風邪薬を飲んで、いくら寝ても良くなりません……逆に、ひどくなり……。

そんなこんなで、室蘭の実家に着いてすぐ、病院へ。

検査の結果、肝臓の機能が低下している事が判明。「ウイルス性肝炎でしょう」との事。どおりで良くなりません……。

入院を勧められるほど、悪い病状でしたが、娘はママがいないと夜寝られないので、結局、入院せずに実家で絶対安静。

そもそも、妻が掛かってしまったウイルス性肝炎には、治す薬というものが無いらしいですね。とにかく体を休めて、安静にし、ただただ自分の体の治癒力に期待をしなければならぬという辛い病気です……。

病院に行った日の夜には、私だけ東京に帰ってくる予定だったのですが、詳しい検査結果が出るまで、そして病状の経過を診るため、私もそのまま滞在を延長。

その後、安静にしていることが出来、おかげ様で徐々に回復。入院する必要はなくなりました。予定より遅くはなりましたが、私一人、先に帰ってきて、妻と娘は当初の予定通り、2週間ほど滞在をして帰ってくる事が出来ました。

■お体、大切に……

妻の具合が悪くなったのも、元はと言えば、夏の暑さにやられ、体力・免疫力が落ちていたのが原因。昨年の夏も、身近で体調を崩した方がいました。(ニュースレターをお読みの方ならご存知と思いますが……そう、1ページ目の写真の方です。)

やはり、近年の過酷な夏というのは、体調を大きく崩す要因となってしまいうようです。来年は、自分も気をつけなくちゃ……。

皆様もどうぞお気を付けて。また残念ながら体調を崩し、今も調子が悪くて……という方。どうぞ悪化しないよう、一日でも早くお元気になられますように。

ということで、行く前は、札幌や室蘭の色々な情報を仕入れて、お伝えしようと思っていたのですが、結局そんな余裕はなく……。

すみません、またの機会に。



■前号に引き続き・・・

当店の新しい取り組みについて、ご紹介させていただきたいと思います。

今年の春先からですが、足場業者さんと提携をし、何件かの現場で、足場の設置をお願いしています。

足場業者さんが組む足場は、「ビケ足場」と呼ばれるもので、外壁塗装の現場でも多く用いられている方法です。



組み立てていく際には、垂直に立てたパイプとパイプの間に、地面と水平になるよう横にパイプを差し込み繋げていきます。

部材の規格（長さや取り付けられる位置）が決まっていたり、接続に部材がいらないため、作業効率が良く、短時間で組み上げられることが、お客様への最大のメリットです。

また、塗装作業をする際の足元には、メッシュ状の鉄製の板を設置するので、移動がしやすく、安全性に優れており、作業をする方からすると、こちらもメリットとなっています。

この「ビケ足場」とは別に、当店でずっと行なってきた、単管パイプとクランプと呼ばれる金具を使って組み立てる「単管足場」という方法があります。

色々な長さのパイプと色々な形状の金具を使い、組み上げていきます。



「ビケ足場」の部材のように、あらかじめ取り付け位置が決まっているわけではないので、様々な組立て方が出来、自由度が高いのがメリットです。

また、「歩み板」と呼ばれる鉄製の板も使用すれば、塗装作業時の足元の安定も確保出来ます。

複雑な立地条件や建物形状に対応でき、塗装作業をしやすいよう、自由に組むことが出来るので、今後もこの方法が必要な現場があるかと思います。

「ビケ」「単管」どちらにしても、足場で重要なのは、「住まわれている方、ご近隣の方の安全確保」「建物自体に損傷を与えないこと」、「塗装作業が安全に丁寧出来ること」です。

これからも、しっかりとした足場を組んで、質の良い塗装工事をしてまいります。



発行者 上神谷裕治（かみかべやゆうじ）

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

